

南米 2018.09.10 ~ 10.15

■ 2018.09.10 8時ちょうどの ■



はあちじちょうどのおー ふつうれっしやでえー

わたしは わたしは 南米に 旅立ちます

金浦駅 08:00 発の普通列車で酒田。いなほ 6 号で新潟。上越新幹線で東京。とんかつ和幸で遅い昼食。御徒町モンベルで買い物。

成田発 20:05 の飛行機は出発が遅れたせいで仁川国際空港へは 23:00 近くに到着。入国審査が混み合っていたため、23:30 発ホテルの無料シャトルに乗り損ねた。

地下鉄でホテル近くの駅。念のため韓国ウォンを少額用意しておいて良かった。コンビニでおにぎりとお焼酎を買って晩酌。明日はいよいよロンドン経由で南米へ。

■ 2018.09.11 ヒースロー国際空港 ■



ホテル近くのコンビニにて、ビールとサンドイッチとおにぎりを買ひ、朝食。

仁川国際空港へは、12:00 発、ホテルの無料シャトルで。

仁川発 14:30 アシアナ航空便でロンドンへ。約 12 時間半の長旅。

映画「ハン・ソロ」「オリエント急行殺人事件」を日本語音声で観る。機内食の韓国料理が美味しかった。ロンドン着 18:50(日本&韓国時間 26:50)。いきなりヨーロッパ。

ヒースロー国際空港は垢抜けていて、とーってもオシャレ。

■ 2018.09.12 南米入り ■



ロンドンからサンパウロ(ブラジル)は、これまた 11 時間半を超える長旅。機内食が平たい丸いプレートで出て来てちよっとびっくり。映画「バック・トゥザ・フューチャー 2」を日本語字幕なし英語音声で観る。サンパウロからブエノスアイレス(アルゼンチン)へのフライトは 3 時間ほど。

世界放浪の旅、南米編は、ここから始まりでございます。

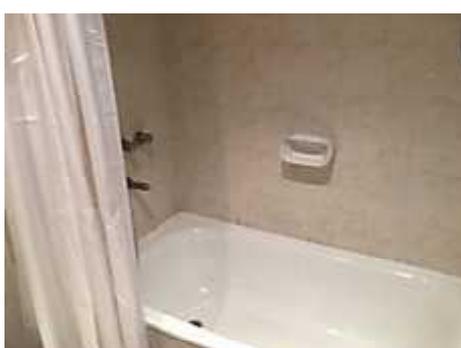
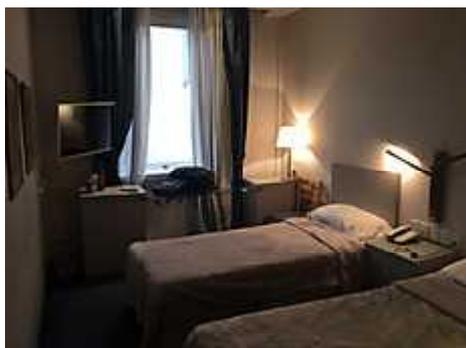
■ 2018.09.13 ブエノスアイレス・モンセラート地区 ■



昨日の到着日は、長旅の疲れを癒すため完全休養。本日より観光開始であります。

まずは、ホテル近くのモンセラート地区から。5 月広場。カピルド。大聖堂(カテドラル・メトロポリターナ)。大統領府。などなど。見どころが集中している場所です。

■ 2018.09.14 国会議事堂周辺 ■



二泊したホテル、エル・ポルターニョをチェックアウト。国会議事堂周辺のホテルに移動する。国会議事堂前広場をゆっくり観光しながら、本日の宿泊先まで向かったら、そのホテルはリフトが故障中なので、近くの代替ホテルに行ってくれという。スペイン語しか話さないそのホテルマンは、スマホのグーグル翻訳で英語を示してくれた。600メートル程離れたバベルプラザホテルは、予約したホテルよりグレードが高く、大変得をした。バスタブには案の定、栓がなかったが、こんなこともあるかと、アルミホイルで作った栓を持参して来たもんね。ふっふっふ。

■ 2018.09.15 スブテで一苦労 ■



ブエノスアイレスは大都市で見どころも離れているため、コレクティーボ(市内バス)やスブテ(地下鉄)の利用が欠かせない。空港から市内に来るときに、キオスクでスーベというカードを購入し、コレクティーボには乗った。今日初めてスブテを利用。

まず、カードにチャージしようとしたが、窓口のおばさんは当然スペイン語のみ。スマホのグーグル翻訳でなんとか購入。必要以上の額をチャージされてしまう。(涙)

で、乗ったはいいが、しょっぱなから逆方向。元の方へ戻ろうとしたらホームがない。ブエノスアイレスの地下鉄は、方向によって入り口が違うってよ。言葉は通じないし、タイヘンだなあこれは。それでもなんとか乗り換えもして、目的のレティーロ地区へ。サン・マルティン広場からフェリーターミナルへ行き、ウルグアイ行きチケットをゲット。ここでは英語が通じて安堵！ アルゼンチンは物価が高い、とガイドブックにあったが、そうでもない。スーパーで買う限りは安かった。安いものでビール 50 円、ワイン 100 円、ソーセージ 120 円、カップ麺 120 円などなど。こりゃあたまりません。

■ 2018.09.16 ウルグアイへ ■



ブエノスアイレスは物価が安く、居心地のいい街だった。もう少しいたい気持ちを振りきって本日の移動を決意。サブテでフェリー乗り場に向かう。改札で棒が回転せず焦って入場。一駅で乗り換えたとき、傘がないのに気づいた。きっと改札で落とされたに違いない。近いので徒歩で戻り傘ゲット。そこからは小雨の中、歩いてフェリー乗り場に向かった。アルゼンチンの出国とウルグアイの入国審査をしてフェリー乗船。ブエノスアイレスから対岸のウルグアイ・コロニアまで、約一時間。コロニアから首都モンテビデオまで、バスで2時間半ほど。これまた小雨の中ホテルまで歩きチェックイン。ウルグアイはアルゼンチンよりも少し物価が高いみたい。

■ 2018.09.17 モンテビデオ旧市街 ■



モンテビデオの見どころといえば「独立広場」「サルボ宮殿」「国家議事堂」「 gaucho博物館」「憲法広場」などなど。「市場」には沢山の炭火焼焼肉レストランがありました。高いから遠慮しましたが…。

■ 2018.09.18 ブエノスアイレスふたたび ■



モンテビデオからブラジルのポルト・アレグレへ行こうか検討したが、ブエノスアイレスのホテルに忘れ物をしたこともあって、再びアルゼンチンに戻ることに。きっとこれはサンティアゴ(チリ)に行きなさいというメッセージと考えよう。バスでコロニヤ、フェリーでブエノスアイレス。プラザ・ホテルで忘れ物のモバイルバッテリーを受け取る。今宵はアヤミトレ・ホテル宿泊。アルゼンチンペソがなく、両替も出来ず、スーパーはカード払い。

■ 2018.09.19 チリへ ■



16:00 発長距離バスでチリの首都サンティアゴへ。2200 ペソ。(6661 円)20 時間超の長旅。アンデス山脈を越え、チリ国境に着いたのは翌日。寒い中、入国に1 時間以上かかってげんなり。

■ 2018.09.20 サンティアゴ到着 ■



結局 23 時間超かかって、サンティアゴ到着。バスターミナルから歩いてホテルに向かう。ターミナルすぐ近くに中央駅があった。活気溢れる街。歩道に人が溢れているうえ、やたらに歩く速度が遅い。ホテル近くの露天商からチキン&ポテトを買い、ビールで流し込む。チリもアルゼンチン並みに物価が安くて気に入った。

■ 2018.09.21 たまには贅沢を ■



サンティアゴ旧市街観光。「モネダ宮殿」「アルマス広場」「サンティアゴ大聖堂」などなど。なかなかお洒落な街ですね。一番楽しみにしていたのは市場。チリの豊かな魚介類を見学出来て良かった。あまりに美味しそうだったので、奮発してレストラン。貝の煮込みとビール。一度タガが外れると弱いもので、夜は中華料理。食べ切れませんでした。(^_^;)

■ 2018.09.22 メンドーサ経由サルタ ■



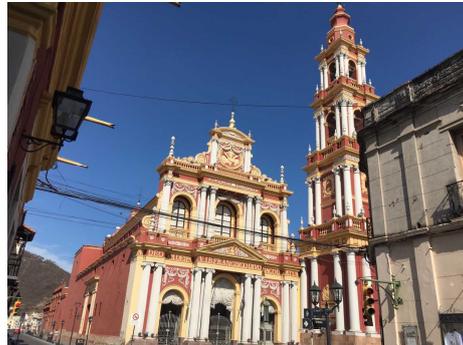
サンティアゴから太平洋側を北上してアントファガスタへ行くつもりだったが、チケットが取れず。2~3 日後もないというので、アルゼンチンのメンドーサ経由でサルタへ。再びアンデス越え。

南米最高峰アコンカグア山の麓を通るルート。09:30 出発なので、素晴らしい景色を堪能することが出来た。おまけにバスが超豪華。シートが立派なうネリクライニングもかなりのもの。

高だけあります。アルゼンチン入国に2時間近くかかったことを除けば、快適至極でありました。

8時間ほどでメンドーサ到着。サルタ行きバスは20:30発。メンドーサでの待ち時間と乗り換えが面倒さ。(お後がよろしいようで…) m(_ _)m

■ 2018.09.23 サルタ到着 ■



メンドーサから乗ったバスは「セミカマ」というシート。あまりリクライニング出来ず固いので快適ではない。これに18時間も乗るのはちょっとタイヘン。

バスの隣席に女性乗務員さん。彼女は英語が出来ず、僕もスペイン語が出来ず、会話はスマホのグーグル翻訳で。お世話になりました。サルタ近郊でバスチェンジがあってここでお別れ。

午後3時過ぎサルタ到着。風景は、いきなり南国。

■ 2018.09.24 休養日 ■



バスでの長旅にさすがに疲れたようで、遅く目覚める。観光はやめにして完全休養日を決め込む。

午後、バスターミナルに行き、次の目的地へのチケットを購入。明日のバスは取れず、明後日のポサダ行きが取れた。というわけで、サルタにもう一泊することになった。

行き当たりばったりの旅だからしょうがない。観光は明日に延ばし、こうしてブログ更新にいそしむ。

■ 2018.09.25 サルタ旧市街 ■



サルタ旧市街観光の目玉は、7月9日広場周辺に集まっております。

まずは、街の象徴「カテドラル」向かいにある「カビルド」。内部は「歴史博物館」になっ

ています。展示されていた土器が、日本の縄文や弥生時代の物と似ていて興味深かった。

■ 2018.09.26 豪華バスで楽ちん移動 ■



サルタからコリエンテス経由でポサダスに向かうバスに乗車。2階に上がると席が3列なことに気付く。そうです。このバスはセミカムではなく、限りなくフラットになる極上シートなのでした。

毛布と枕も配布され、写真のように完全くつろぎ状態で快適至極。食事も美味しかった上に冷えた赤ワインも2杯飲み、幸せにひたるいさちゃんでありました。

■ 2018.09.27 プエルトイグアス到着 ■



ポサダスのバスターミナルに9:30到着。運良く10:15発プエルト・イグアス行きバスに乗り継ぐことができた。泊まったホテルはご覧のようなコテージタイプ。庭付きでゆったりとして気持ち良かった。エアコン付き。これで1800円ですから、すぐにもう一泊することを決定！

■ 2018.09.28 イグアスの滝 ■



イグアスの滝はアルゼンチン側、ブラジル側、それぞれ見え方が違うので、両方観光するのがお勧めとガイドブックにあった。迫力があるのは、アルゼンチン側。ということで、バスで到着。公園内では無料の列車でいどうする。整理券をもらって乗るシステムがわからず少々タイムロス。有名な悪魔ののどぶえまでは遊歩道で。ご覧の迫力、圧巻！

ラインやフェイスブックでは、動画を載せています。来てよかった。

■ 2018.09.29 又やらかしました ■



プエルトイグアス（アルゼンチン）からフォスドイグアス（ブラジル）へ。案外すんなりと国境を越えることができた。さあ、これからサンパウロ行きバスのチケットをどうぞ！

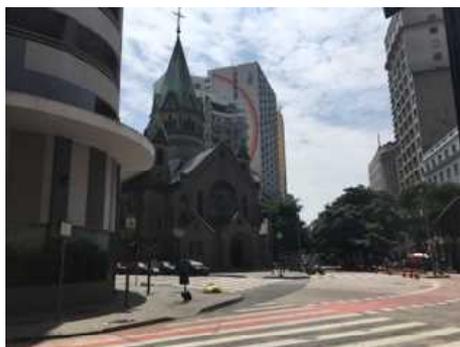
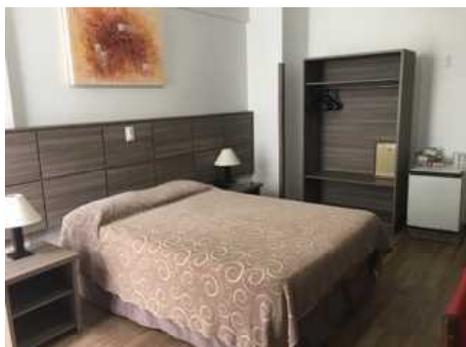
と思ったらバスは市内とは逆方向へ向かうではありませんか。着いたのはブラジル側イグアスの滝公園。買うチケットを間違えたのでした。

焦る僕に公園ガイドさんたちは優しくった。なんと日本語を話すガイドさんに出会い、ブラジル通貨のキャッシングを手伝ってもらっちゃった。

市内に向かうバスは 20 分おきに出ているということで、難なく問題解決。と、思ったが、サンパウロ行きバスは市内バスが着いたターミナルとは別の場所から出ているらしかった。ここでも係りの人に助けてもらい、インターナショナルターミナル到着。

時間まで食堂で美味しい食事とビール。ブラジル食が口に合うみたい。

■ 2018.09.30 サンパウロ入り ■



フォスドイグアスからサンパウロまでのバスは食事も飲み物も出なかった。

もしかして、ブラジルのバスはそういうシステムなのかしらん？

油断して水しか買わずに乗り込んだことを後悔。

サンパウロではちょっと奮発して少し高いホテルをチョイス。ブラジルも物価安くて嬉しいな。

■ 2018.10.01 YAKISOBA ■



サンパウロは大都会。移動は地下鉄が便利。思ったよりは治安も良い。浮浪者が多いけど。ホテル近くの中華料理屋で YAKISOBA という表示を見つけ、思わず注文。さすがブラジル、日系人が多いからか、和食の店も多いらしいです。

■ 2018.10.02 サンパウロ東洋人街 ■



ブラジルでありながら、日本の地方都市の駅前商店街のような場所でありました。和食の店も多く、何を食べるかさんざん迷った挙句に、事もあるうに「すき家のカツカレー」！
カツ丼にすべきだったか…

■ 2018.10.03 パラグアイへ ■



サンパウロでの滞在は思いのほか面白かった。やはり日系人が多いからなのでしょうね。日本と関わりが深いのもあるかな。

アスンシオン行きバスは、やはり飲み物も食事もなし。ブラジルのバス会社はそういうシステムのようなのですね。

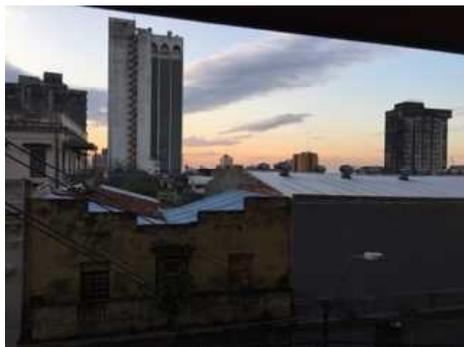
夜8時頃、何処かのドライブインのようなところに留まって食事をする時間があった。ブラジルのお金を余り残してなかったため、飲み物を買っておしまい。最初に教えてくれい。

■ 2018.10.04 アスンシオン(パラグアイ) ■



サンパウロからアスンシオンに行くには、フォスドイグアスを通るんですね。また同じ場所に戻って来ちゃいました。フォスドイグアスからパラグアイ国境の橋を徒歩で渡ってイミグレーションへ。乗って来たバスがどこで待っていてくれるか全くわからず不安でしたあ。

■ 2018.10.05 またまた完全休養 ■



ボリビア行きバスは明日夜 8 時発。観光する時間はあり余るほどあるので、またまた完全休養を決め込む。ホテルの窓から見えるアスンシオンの夕焼けが綺麗でした。パラグアイビールもグッド。左端はカーニャという、サトウキビ原料のラム酒を荒くしたようなお酒。

■ 2018.10.06 ボリビアへ移動 ■



今夜のバスでボリビアへ。パラグアイとの時差はマイナス 13 時間。夜 8 時は、日本だと、翌日の朝 9 時となります。

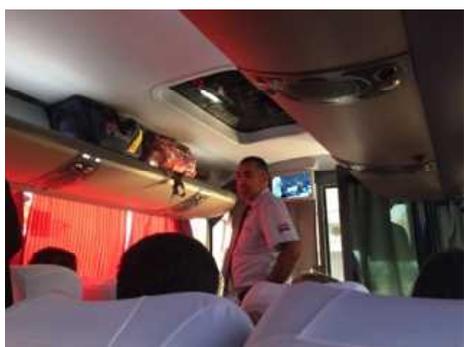
12:00 チェックアウトのあと午後 8 時までの時間潰しがタイヘンだった。アスンシオン旧市街の観光は 1 時間ほどで終了。歩き廻るにも疲れ、路線バスでターミナルへ。

これが思いのほかタイヘンだった。どのバス停から乗ればいいのかわからない。大きな通りで何台も待ったが、ターミナル行きのバスが来ないのだ。5 種類もあるからと安易に考えたのが失敗。そこで役立ったのがグーグルマップ。バス停を検索すると、何番のバスが通るか示してくれる。

バスに乗って驚いた。物売りの人々が次々に乗り込んで商売を始める。中には、フーテンの寅さんさながらに口上を始め実演販売するおじさんも…。バスターミナルでも、物売りのだらけ。ベンチに座っていても次から次。さすがに僕に声をかけてくる人は少なかったけど。小 1 以下と思われる子どもも多く物売りをしていて、ちょっと考えさせられた。

夕食に炭火焼きの牛肉やソーセージとビール。安くて美味しいですよ。

■ 2018.10.07 なぜかサンタクルス ■



「ウユニに行くにはどうすればいいですか？」

窓口で聞いたら、ビラモンテで乗り換えれば良いと言われ、チケットを買った。乗ったバスはサンタクルス行き。パラグアイとボリビアの国境を越えビラモンテ到着、と思いきや、バスはターミナルには止まらなかった。

ウユニに行くバスはどのターミナルから乗ればいいのか聞くと、ここからそんなバスは無いと言われた。ガビーん。あの窓口の野郎嘘を教えやがったか？

ウユニに行きたければサンタクルスに行って、そこから行けばいいとのこと。事前に調べた情報と同じだった。幸い払った料金がサンタクルスまでと同額だったので、追加料金なしでサンタクルスへ。ふう。疲れませぬ。

■ 2018.10.08 サンタクルスは暑かった ■



サンタクルスからポトシ行きバスチケットをゲット。17:30 発。明日朝 8 時半到着予定。ポトシからウユニ行きバスに乗り換えると、8 時間くらいで着くそうです。本当かなあ。

ボリビアのバスは古いし、道がかなりの悪路なので、ホテルを予約するのが怖いです。

ターミナル側の食堂で食事。ようやく来たバスに乗り込むと、僕の席に女の子がやって来て OK ポーズ。なんとバスチケットを売ってくれた窓口の人が日本人がちゃんと乗ったか心配して確かめに来てくれたのでした。

■ 2018.10.09 アンデスは手強い ■



サンタクルスを昨日の 18:20 発。憲法上の首都スクレ経由でポトシ到着予定 08:30 だったが、実際に着いたのは 10 時近かった。バス料金は 120 ボリ。安くても乗り心地は悪くなかった。隣に席がないと楽です。

着いたターミナルからウユニ行きバスは出しておらず、近いからと最初は歩いた。ところがギッチョン、ここは標高 3500 メートル以上の高地だということをおぼろげに忘れていた。すぐに息切れし、たまたまタクシーを使用。9 ボリ。

ウユニまでのバスは、30 ボリ。所要 4 時間半で憧れのウユニ到着。アンデスの山道を行くのでやたら時間がかかります。

■ 2018.10.10 ウユニ塩湖 ■



南極点で日の丸を掲げている訳ではありません。念のため。
日帰りツアーに参加してウユニ塩湖を堪能して来ました。四駆ジープに6人のツアーメンバー。イギリス人カップル、ボリビア人カップル。アメリカ女性と僕。
グループでの食事や記念撮影が楽しかったです。
ウユニ塩湖は昼よりも、夕焼け頃の景色が数倍良いです。

■ 2018.10.11 ラ・パス到着 ■



ウユニ 20:00 発の夜行バスでラ・パスへ。セミ Camaシートだが隣に人がおらず超楽ちん。
珍しく、予定より早い朝6時前に到着してしまい、面食らう。
バスターミナルでしばらく過ごしたが、寒いなの。持ってる服全部着て耐えた。
7時近くになるとバス会社の窓口が開いたので、リマ行きチケットゲット。28時間かかると聞き、奮発してCama。セミCamaとの差額は800円。安いもんです。
凍てつく小雨の中、歩いてホテルへ。朝8時にチェックインできて大変助かりました。
夕食はレストランからテイクアウトしたもの。これまた、安くて美味しかったです。

■ 2018.10.12 ラ・パス旧市街 ■



ラパスと聞いて思い浮かんだのは、次の呪文。

「ラアパス、ラアパス、ルルルル」

(キタキツネを呼んでいる訳でございません。念のため。)

秘密のアッコちゃんの変身から元の姿に戻る時の呪文は「ラミパス…」です。
はたして、ワタクシは、元の姿に戻れるのでしょうか？

■ 2018.10.13 インディカ米 ■



ボリビアでは、いたる所でお米を食べることができました。
インディカ米で、パサパサしているため、箸やフォークで食べるのはちと難儀です。
下の蟹炒飯は空港の中華レストランにて。10ボリ。

■ 2018.10.14 急遽予定変更 ■



あれっ？ バスでリマに向かったはずなのに、どうして空港にいるの??

賢明なる読者は、直ぐに気づいたこととございましょう。そうです、急遽予定変更したのでございませぬ。理由は米国 ESTA 取得が却下されたこと。

イラン渡航歴があるためでしょう。単なる乗り継ぎでも許可されませんでした。これにより、米国経由の飛行機に乗れなくなりました。うかつでした。

もうひとつの理由は、南米北部や中米の治安。

ペルーからエクアドルまでは陸路での国境越えは安全に出来そうですが、そこから先、コロンビア国境越えが少々危険。空路ならまず大丈夫だから、そこからキューバに飛んだ後、日本に帰るつもりでした。

キューバから日本に向かう多くの飛行機は米国経由。値段を考慮すると割高。そこまでして旅を続ける気はない。そういう訳で、「世界放浪の旅南米編」はここで終了と相成りました。
(^_^)

- ①ラパスからサンタクルス経由でブエノスアイレス。
- ②ブエノスアイレスからサンパウロ経由でアディスアベバ(エチオピア)
- ③アディスアベバから韓国仁川経由で東京成田。

■ 2018.10.15 呪文が効いちゃった ■



ラアパス ラアパス ルルルルル

秘密のアッコちゃんは変身から元の姿に戻り、
うっかりいさちゃんは、南米から元の国に戻っちゃいました。